

"だんだんカフェ"の開催

文部科学省 私立大学 戦略的研究基盤形成支援事業
『集合住宅“団地”の再編（再生・更新）手法に関する技術開発研究』

AUGUST 2013
VOL. 117



図 1. 学生が住民に提案内容を説明している様子

1. はじめに

本プロジェクトでは2012年度に京都府八幡市男山団地を対象にして集合住宅団地の再編提案をおこなった。また、この提案内容について地元住民の意見を伺う機会として「だんだんワークショップ」を計2回開催したところである（リーフレットVOL.118を参照）。ただ、もう少し住民の方に気軽に、お茶を飲みにくる感覚で学生たちと提案内容について話せる機会を設けたいと考え、「だんだんカフェ（“団地について談話する”カフェ）」を開催することとなった。

開催場所は団地の集会所をお借りした。再編提案模型を設置し、住民が来られるとお茶とお菓子を出し

て、模型の前に座ってもらい（賃貸の住民の方に関してはお住まいの地区の模型の前にまずお座りいただいた）、研究メンバーや学生が提案について説明するという流れで実施した。「だんだんカフェ」という親しみやすい名前にし、お菓子やお茶を囲む形式にすることで、まずは集会所に気軽に足を運んでもらうきっかけとなる仕組みづくりを心がけた。また、提案に対して率直な意見が出るような落ち着いた場づくりを目指した。

2. 開催場所と日時

これまでの開催場所や日時について表1に示す。場所

については男山団地内の中央集会所と南集会所で開催した。日時については、様々な曜日や時間帯を設定することで、多くの住民の方に参加していただけるよう開催した。

表 1. 開催日時と場所の一覧表

	日時		場所
	日	時	
1回	3月15日	10:00~20:00	南集会所
2回	3月18日	10:00~20:00	中央集会所
3回	4月7日	10:00~12:00	南集会所
4回	4月7日	14:00~16:00	中央集会所
5回	4月19日	10:00~12:00	中央集会所
6回	4月19日	14:00~16:00	南集会所
7回	5月25日	10:00~12:00	中央集会所
8回	5月25日	14:00~16:00	中央集会所

申込不要・無料です

団地 談話

だんだんカフェ やります

こんにちは、私たちは、関西大学 団地再編プロジェクトです。
日ごとにあたかくなり、暑もすぐそこまでやってきましたがいかがお過ごしでしょうか。
さて、私たちは、いまある団地を活かしながら、これからはもっと暮らしやすい“まち”
に再編していくことをテーマにした研究に取り組んでいます。

男山団地のような団地の多くは、人口拡大時代に大量に建設されました。それは現在、
団地の集約化、建物の高齢化、少子高齢化の影響などさまざまな課題を抱えています。
今回は、男山団地にお住まいのみなさまに、お茶を飲みながら、こうした問題について
関西大学の学生とご一緒に話し合いたいと思います。企画しました。下記期間中の出入りは自由ですので、お気軽にお立ち寄りいただけますと幸いです。

対象：男山団地にお住まいのみなさま（どなたさまもお気軽どうぞ！
お茶とお菓子ををご用意してお待ちしております！

第1回 ■日：平成25年3月15日（金）
■時間：朝10時-12時、昼14時-16時、夜18時-20時
■会場：男山南集会所

第2回 ■日：平成25年3月18日（月）
■時間：朝10時-12時、昼14時-16時、夜18時-20時
■会場：男山中央集会所

主催・お問い合わせ 関西大学 先端科学技術推進機構 地域再生センター
TEL: 06-6368-1111 (内線 6720) E-mail: ksdp6720@gmail.com / 担当：片岡

図2. だんだんカフェの告知ポスター



図3. だんだんカフェの様子



図4. 学生がだんだんカフェを体験

3. 提案に対する男山団地住民の声

住民の意見で、特に多かったものを以下に紹介する。

<全体的な計画に関して>

- ・減築すると、そこに住んでいた人はどうなるのか。

- ・コミュニティの小さなまとまりごとに特色があるのが良い。
- ・中央センターに昔あった市場の雰囲気欲しい。

<団地の空地、共用部に関して>

- ・気軽に集まって来られる場が出来れば良い。
- ・4階着床EVは賛成。
- ・夜が暗いから街灯が欲しい。

<住戸内に関して>

- ・空家が目立つ4、5階を有効活用するのはどうか。
- ・子供の成長に併せて間取りを変えたい。
- ・壁を取って2戸1にする提案が面白い。

<戸建ての介入に関して>

- ・戸建てと、団地の人間関係が生まれるのか。
- ・賃貸と分譲をどのように結びつけるのか。
- ・若い人を入れることや、この地形を考えると駐車場は必要だと思う。

4. 様々な住民への開催

男山住民の他、本プロジェクトの研究メンバーや他大学の学生、八幡市役所の職員などを対象に、だんだんカフェをおこなった。実際に男山団地住民がどのような説明を受けている体験してもらおうと同時に、実際に提案内容を見てもらい客観的な意見をいただくなどをした。

1) 関西大学リサーチアトリエ

(天三ギャラリー)での開催

関西大学が天神橋筋商店街にもつリサーチアトリエをお借りして出張だんだんカフェをおこなった。男山団地の地域外の方から客観的な意見を聞くことが出来た。商店街内の人通りの多い場所なので、模型に興味

を持ち立ち寄る人が多く、開催する場所によっては多くの参加が見込めることもわかった。(リーフレットVOL.125を参照)

2) 武庫川女子大学ゼミ生の参加

プロジェクトメンバーである武庫川女子大学の坪明教授とその研究室の学生に、男山団地でのだんだんカフェに来てもらい、その様子を見学し、提案の説明や意見交換をおこなった。

3) 八幡市役所での開催

市役所内で職員が帰宅する時間に合わせて実施した。当日は館内放送などで呼び掛けることで、たくさんの職員の方に来て頂き、充実した意見交換をおこなうことが出来た。

5. おわりに

だんだんカフェは、関西大学が提案した団地の再編計画を実際に男山団地の住民に見てもらい、意見をいただくことで、再編提案の更新を計ろうという目的のもと始まったが、それ以外でも様々な収穫があった。その1つに住民との交流である。お茶を飲み、お菓子を食べながら団地のことや生活のことについてざっくばらんに話すことで、交流が深まり、もう一度来てくれる方がたくさんいた。実際に男山団地と深く関わっていく本プロジェクトにおいては関係をつくるきっかけになった。

しかし様々な課題も抱えている。関大リサーチアトリエ(天神橋筋商店街3丁目)などでの開催と比べると圧倒的に現地での実施では住民の参加が少ないのが現状である。告知方法や実施場所など、これからは様々な人が来るための仕掛けを考える必要がある。

関連リーフレット：118 125

『“だんだんカフェ”の開催』

執筆：芦田康太郎(関西大学大学院 博士前期課程)
片岡由香(関西大学 先端科学技術推進機構)

本リーフレットは、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「集合住宅“団地”の再編(再生・更新)手法に関する技術開発研究(平成23年度~平成27年度)」によって作成された。

発行：2013年8月

関西大学

先端科学技術推進機構 地域再生センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

先端科学技術推進機構 4F 団地再編プロジェクト室

Tel : 06-6368-1111 (内線:6720)

URL : http://ksdp.jimdo.com/